



2015年12月期 2015年1月1日～2015年12月31日

# SIOS Report Vol.19

# SIOS is Innovative Open Solutions

1997年の創業以来、オープンソースソフトウェア<sup>(\*1)</sup>の開発と利用を軸に、OS（基本ソフトウェア）からアプリケーションにいたるソリューションの提供を通じて、新たな価値を創造します。

## 株主・投資家の皆様へ

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

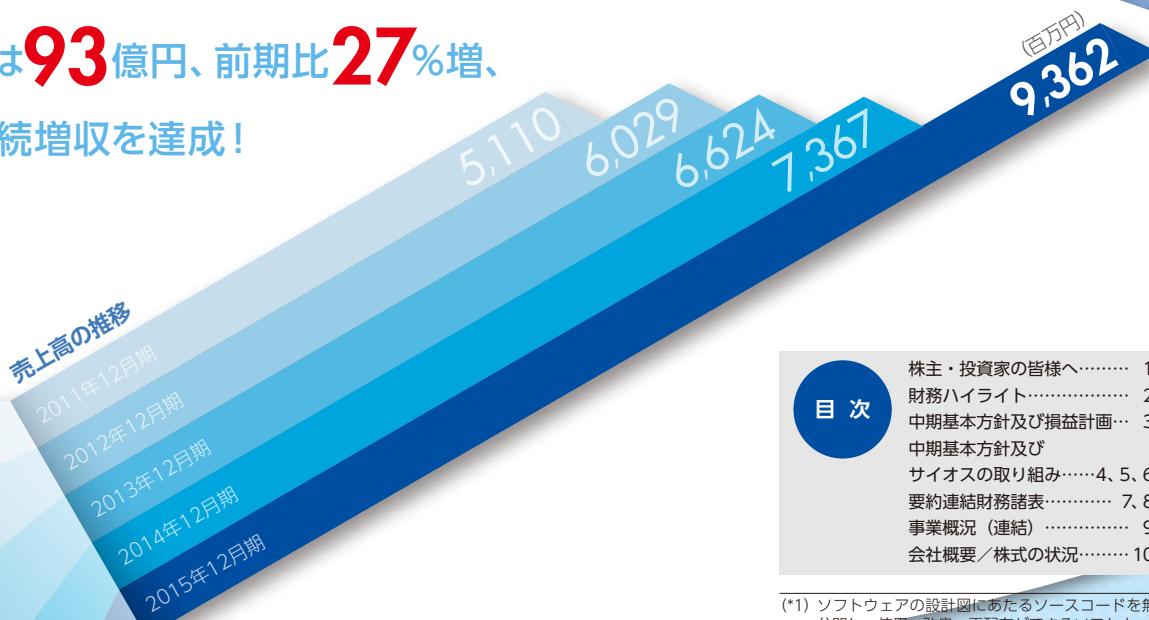
ここに、2015年12月期（2015年1月1日～2015年12月31日）の「SIOS Report Vol.19」を皆様にお届けし、当期の業績のご報告とともに、今後の見通し等につきましてご説明申し上げます。



代表取締役社長  
喜多伸夫

## 当期のポイント

売上高は**93**億円、前期比**27%**増、  
**5**期連続増収を達成！



## 目次

株主・投資家の皆様へ	1
財務ハイライト	2
中期基本方針及び損益計画	3
中期基本方針及びサイオスの取り組み	4、5、6
要約連結財務諸表	7、8
事業概況（連結）	9
会社概要／株式の状況	10

(\*1) ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。

# 財務ハイライト

(単位：百万円)

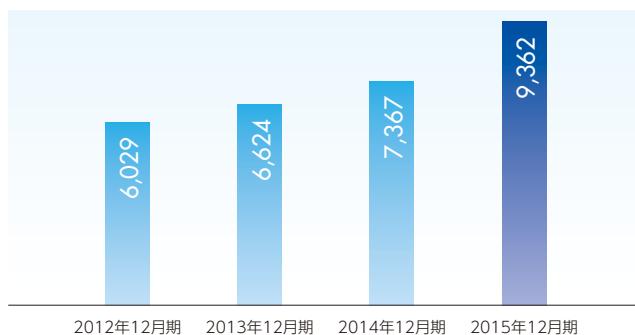
	2012年12月期	2013年12月期	2014年12月期	2015年12月期
売上高	6,029	6,624	7,367	9,362
営業利益(△損失)	111	246	65	△111
経常利益(△損失)	106	265	81	△127
当期純利益(△損失)	34	110	39	△179
包括利益(△損失)	85	230	115	△173
EBITDA*	293	322	125	△45
総資産	3,005	3,196	3,651	5,642
純資産	1,514	1,751	1,733	1,539
1株当たり当期純利益(△損失) (円)*	3.97	12.71	4.48	△20.82
1株当たり純資産 (円)	174	199	200	174
社員数 (名)*	232	238	248	458

\*EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

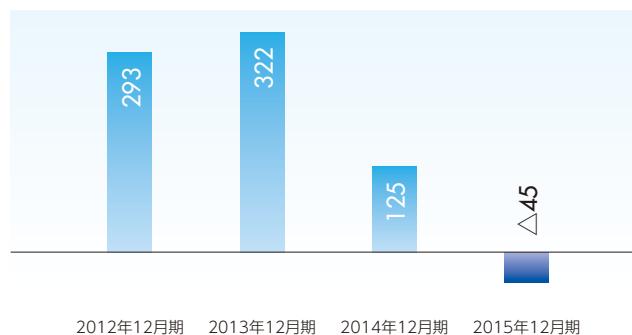
\*2013年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っており、各会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産を算定しております。

\*社員数は、期末時点での正社員人数と派遣社員・契約社員の平均雇用人数の合計です。

## 売上高



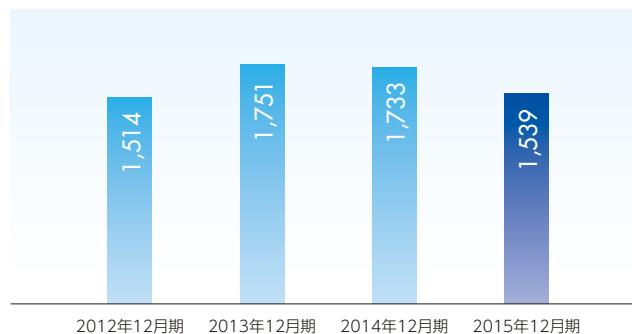
## EBITDA



## 当期純利益(△損失)



## 純資産



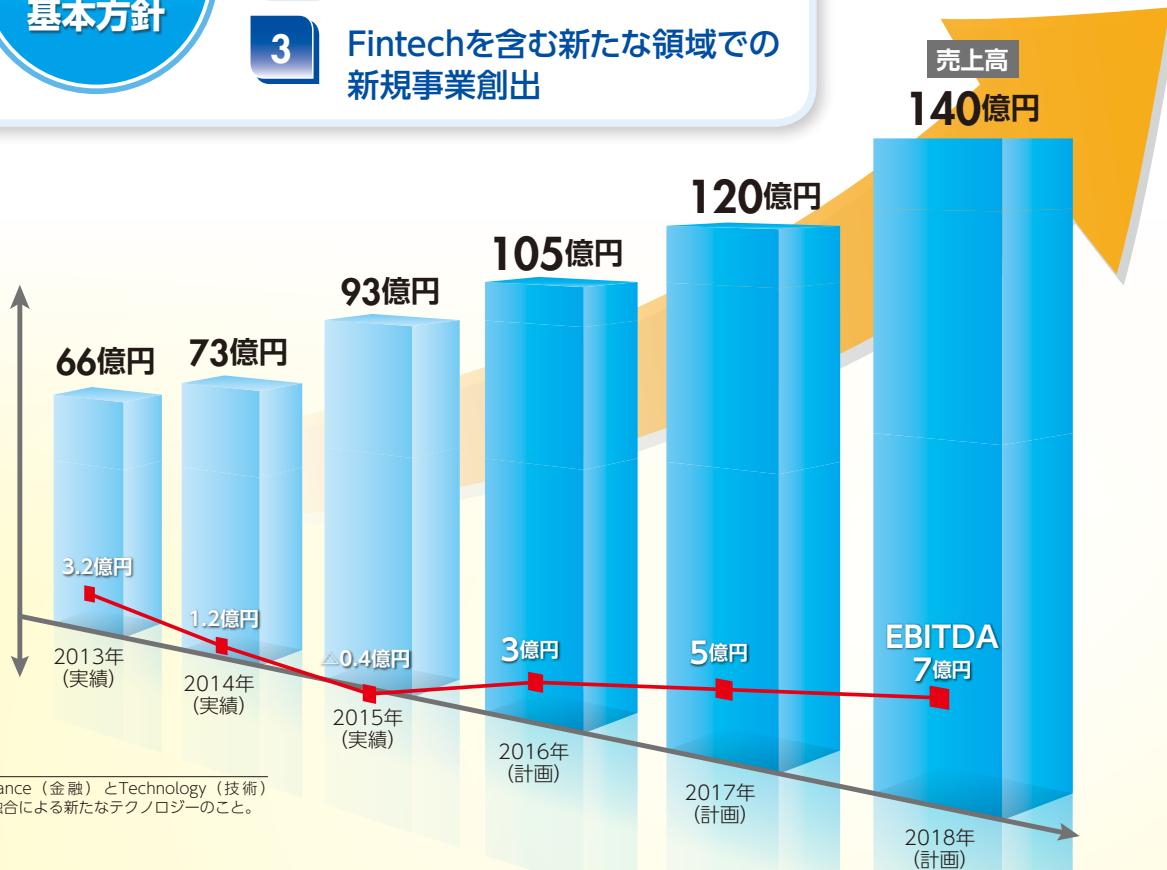
## 中期基本方針及び損益計画

当社グループは、IT産業における急速な市場環境の変化をリードし、中期経営戦略で掲げた更なる成長の実現に向け、「継続的な研究開発投資」「コアビジネスの競争力強化」「Fintech<sup>(\*)</sup>を含む新たな領域での新規事業創出」に取り組んでまいります。

これらの取り組みで、2018年12月期には売上高140億円、EBITDA7億円を達成することを目標としています。

### 中期経営 戦略の 基本方針

- 1 継続的な研究開発投資
- 2 コアビジネスの競争力強化
- 3 Fintechを含む新たな領域での新規事業創出



(\*) Finance (金融) とTechnology (技術) の融合による新たなテクノロジーのこと。

# 中期基本方針及びサイオスの取り組み

## 1 継続的な研究開発投資

当社グループは、中期経営戦略の基本方針に基づき、中長期的な成長を実現するため研究開発投資を継続してまいります。

当期（2015年12月期）は、機械学習技術<sup>(\*)3</sup>を中心に開発に注力し、その成果の第一弾として以下のとおり、IT運用分析<sup>(\*)4</sup>ソフトウェア「SIOS iQ<sup>(\*)5</sup>」を2015年7月に米国及び国内にて販売を開始しました。

### 「継続的な研究開発投資」として機械学習技術の開発に注力

#### 市場における課題・ニーズ

多くのサーバーを使用し、大量のデータ処理を行う企業では、IT管理者への負荷増大が深刻な問題。

#### 「SIOS iQ」による課題解決

「SIOS iQ」は、システム障害の発生リスクを未然に防ぎ、IT管理者の作業負荷を大幅に軽減。

#### 投資成果の第一弾

### SIOS iQ



- ▶ 機械学習技術により障害発生を予防
- ▶ 問題発生時に根本原因と影響範囲の分析を完全自動化し、解決策を提案
- ▶ インフラ全体の効率化・コスト低減

### 「SIOS iQ」を2015年7月から全世界で同時発売

なお、次期（2016年12月期）につきましても研究開発投資を積極的に行う計画であり、研究開発費の総額は880百万円（前年同期比35.5%増）を計画しております。

(\*)3 人間が行っている学習能力と同様の機能をコンピュータで実現しようとする技術、さまざまなデータから有益な情報を発掘するもの。

(\*)4 IT運用で発生するデータを分析し、実用的で分かりやすい情報へと変換するもの。

(\*)5 仮想及びクラウド環境においてアプリケーションの稼働状況を包括的に監視・分析・最適化し、パフォーマンスや効率性の向上、信頼性保護を図り、複雑な課題を解決する製品。

## 2 コアビジネスの競争力強化

### [ LifeKeeper for Linux v9 ]

2015年9月に当社主力製品のひとつである「LifeKeeper<sup>(6)</sup> for Linux v9」を3年4ヵ月ぶりにバージョンアップし、顧客の多様なニーズに対応する新機能を追加しました。

#### 「LifeKeeper for Linux v9」の新機能

3年4ヵ月ぶりの  
メジャーバージョンアップ



- ▶ 同じ構成のサーバーを短時間で大量に複製
- ▶ エンジニアの利便性・作業効率の向上
- ▶ 海外での迅速なインフラ構築も可能に



### [ QuickスキャンV4 ]

MFP(複合複写機)向けソフトウェア製品<sup>(7)</sup>「QuickスキャンV4」の機能拡張を行い、提供を開始しました。「QuickスキャンV4」により名刺や書類等の紙媒体をデジタルデータ化し、企業の業務効率化を強力に支援します。



- ▶ 大型フルカラータッチパネルで、より使いやすく強化・改良
- ▶ オフィス内の紙媒体情報をデジタル管理することにより効率的で安全な運用サポート

(6) 本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。

(7) プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multi Function Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」等の開発・販売・保守。

## 中期基本方針及びサイオスの取り組み

### 3 Fintechを含む新たな領域での新規事業創出

今後、キーポートとProfit Cubeを通じて、Fintech領域において新たな製品・サービスの提供を目指す

#### [ 株式会社キーポート・ソリューションズ ]

キーポートは、優れた技術をベースに主に金融機関向けにアプリケーション開発等を行い、投資情報サイト等も提供しています。



所在地	東京都中央区新川1-28-38		
代表者	代表取締役 森田 昇		
資本金	232百万円	設立	1999年6月
出資比率	当社96.7%、その他3.3%		
決算	売上高1,303百万円、経常利益136百万円、 当期純利益144百万円 (2014年3月期)		

#### [ Profit Cube株式会社 ]

Profit Cubeは、金融機関向けに資産・負債リスク管理を行うALMシステム<sup>(\*)</sup>の開発・販売等を行い、高度な運用支援・コンサルティングを提供しています。



所在地	東京都品川区東品川2-2-20		
代表者	代表取締役 近藤 進一		
資本金	380百万円	設立	1982年8月
出資比率	当社100.0%		
決算	売上高1,127百万円、経常利益56百万円、 当期純利益47百万円 (2015年6月期)		

#### [ 当期次期の配当 ]

##### 当期配当予定 (2015年12月期)

▶ 当期は利益配当を実施せず、研究開発活動を優先的にを行い、中期経営計画の実現を目指しました。

##### 次期配当予想 (2016年12月期)

▶ 次期は当期純利益を計上予定であるものの、将来の更なる成長に向け研究開発等への先行投資を優先的にやりたい、無配とさせていただきたく存じます。

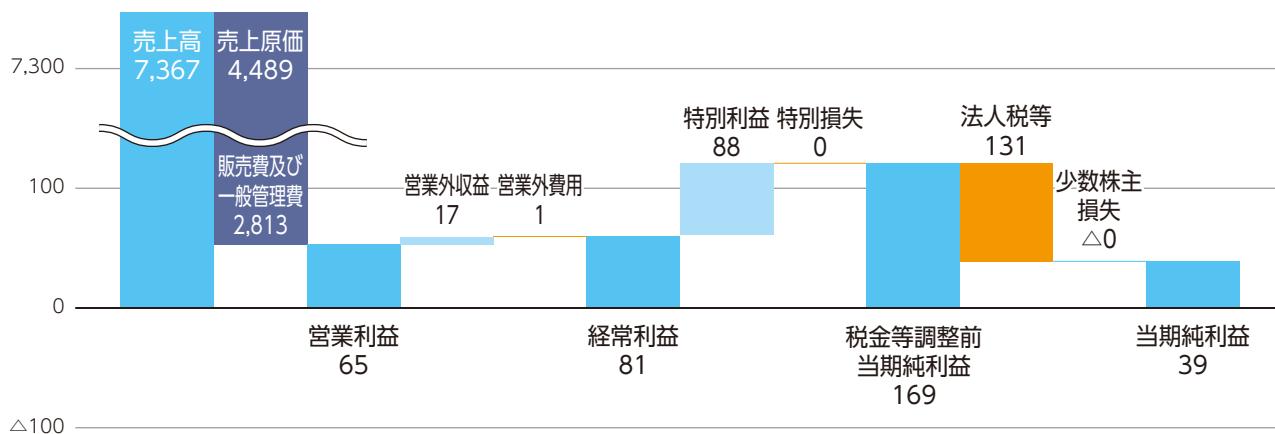
	第17期 2013年12月期 (前々期)	第18期 2014年12月期 (前期)	第19期 2015年12月期 (当期予定)	第20期 2016年12月期 (次期予定)
年間配当	5.00円	5.00円	0.00円	0.00円

(\*) 金融機関の資産・負債等のリスク管理を行うシステム。

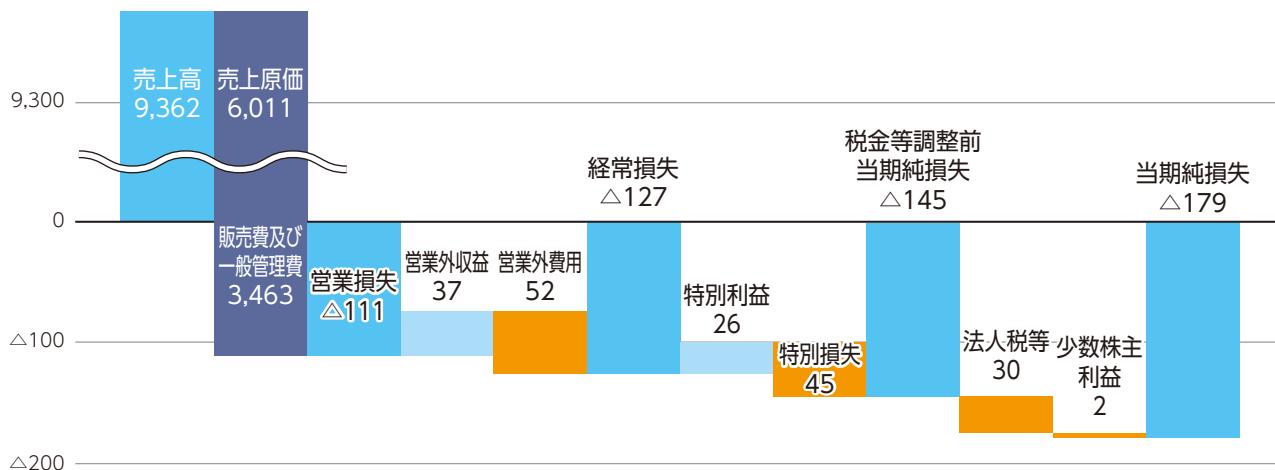
## 連結損益計算書

(単位：百万円)

前連結累計期間 (自2014年1月1日 至2014年12月31日)



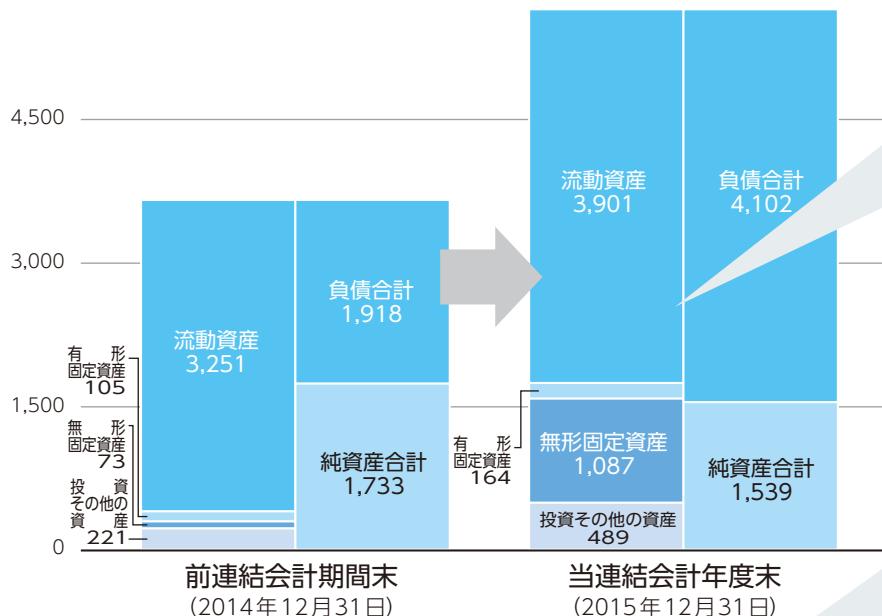
当連結累計期間 (自2015年1月1日 至2015年12月31日)



# 要約連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)



### 財務状態

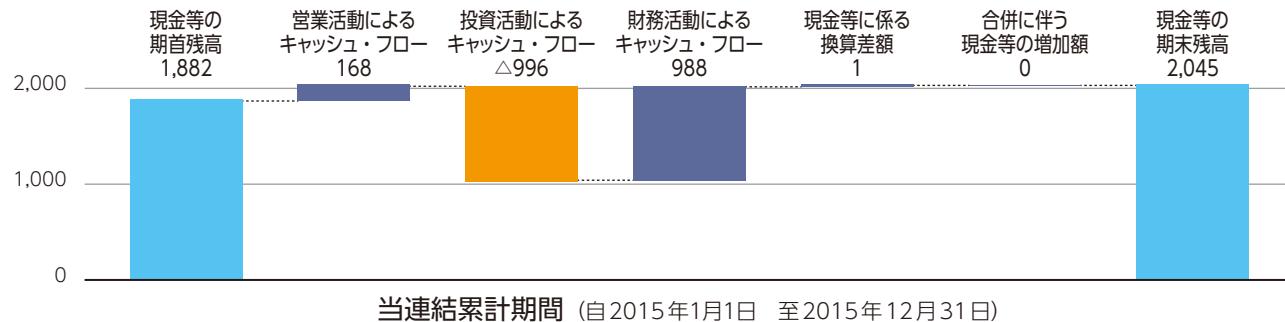
流動資産は、現金及び預金の増加224百万円、受取手形及び売掛金の増加418百万円等の要因により、3,901百万円（前連結会計年度末比20.0%増）となりました。固定資産は、のれんの増加831百万円、投資有価証券の増加190百万円等の要因により、1,741百万円（同334.4%増）となりました。この結果、総資産は、5,642百万円（同54.5%増）となりました。

### キャッシュ・フローの状況

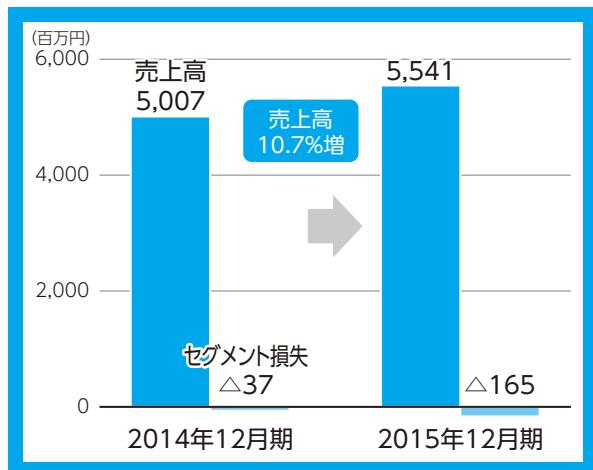
営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純損失145百万円等により168百万円。投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社株式の取得による支出924百万円等により996百万円。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1,060百万円等により988百万円。この結果、当連結会計年度における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ163百万円増加し2,045百万円となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)



## オープンシステム基盤事業



**売上高** **5,541** 百万円 (前年同期比 10.7%増)

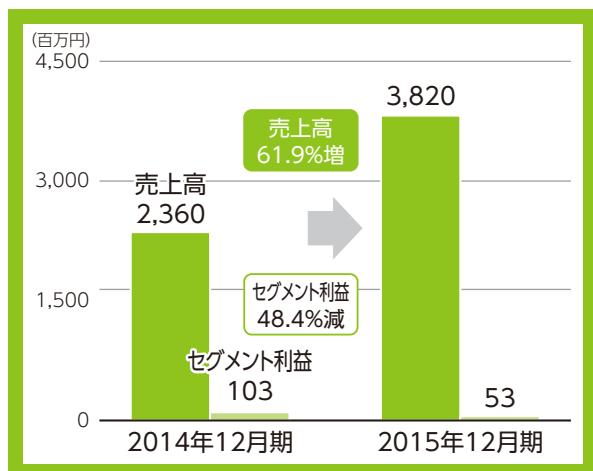
**国内** →「LifeKeeper」は順調な増収  
→OSSサポートサービスやOSS関連商品が好調な増収  
→Red Hat, Inc.関連商品の販売は順調な増収

**海外** →米州、欧州、アジア・オセアニア地域が順調な増収

**セグメント損失** **165** 百万円 (前年同期は損失37百万円)

→機械学習技術への研究開発投資を行った  
(その成果の第一弾として、IT運用分析ソフトウェア「SIOS iQ」を発売)

## アプリケーション事業



**売上高** **3,820** 百万円 (前年同期比 61.9%増)

→キーポート子会社化により大幅な増収  
→MFP向けソフトウェア製品が順調な増収  
→Google Apps連携のSaaS「Gluegentシリーズ」は順調な増収

**セグメント利益** **53** 百万円 (前年同期比 48.4%減)

→MFP向けソフトウェア製品や「Gluegentシリーズ」の機能強化のため積極的に研究開発投資を行った

## 会社概要

**会社名** サイオテクノロジー株式会社  
(英語表記: SIOS Technology, Inc.)

**本社住所** 東京都港区南麻布2-12-3

**設立** 1997年5月23日

**資本金** 1,481百万円

**社員数** 連結 458名 個別 189名  
(社員数は、期末時点での正社員人数と派遣社員・契約社員の平均雇用人数の合計。)

**役員** (2016年3月29日現在)

代表取締役社長	喜 多 伸 夫
取締役	大 塚 厚 志
取締役	森 田 昇
社外取締役	福 田 敬
社外取締役	藤 枝 純 教
常勤監査役	平 松 祐 樹
社外監査役	古 畑 克 巳
社外監査役	長谷川 紘 之

**子会社**

- SIOS Technology Corp.  
(California, USA)
- 株式会社グルージェント  
(東京都港区)
- 赛欧思(北京)科技有限公司  
(北京市、中国)
- 株式会社関心空間  
(東京都港区)
- Glabbio, Inc.  
(California, USA)
- 株式会社キーポート・ソリューションズ  
(東京都中央区)
- Profit Cube株式会社  
(東京都品川区)

## 株式の状況

**発行可能株式総数** 15,000,000株

**発行済株式総数** 8,874,400株  
※自己株式274,241株を含む

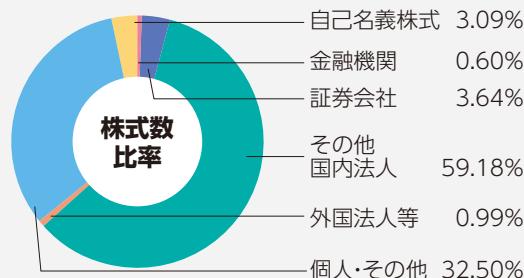
**株主数** 2,891名

## 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
(株)大塚商会	1,593,300	18.53
テンプスタッフ(株)	1,500,000	17.44
喜多エンタープライズ(株)	920,000	10.70
日商エレクトロニクス(株)	746,300	8.68
喜多伸夫	258,300	3.00
野村證券(株)	144,600	1.68
(株)SBI証券	115,200	1.34
中西隆之	114,600	1.33
富士通(株)	110,000	1.28
稲畑産業(株)	100,000	1.16

(注)持株比率は、自己株式274,241株を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	毎年12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸ノ内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国支店で行っております。 ■住所変更等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
公告の方法	電子公告とします。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場取引所	東証二部
コード番号	3744



### ホームページのご紹介

株主・個人投資家の方々に対しての当社の状況をわかりやすく伝えたコンテンツを提供しております。

<http://www.sios.com/ir/>

サイオス

検索



サイオステクノロジー株式会社  
〒106-0047 東京都港区南麻布2-12-3  
[www.sios.com](http://www.sios.com)